詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

令和7年(2025年)第10週　2025年3月3日(月)～2025年3月9日(日)

熊本市　感染症発生動向調査　速報

感染性胃腸炎（ロタウイルス）

例年、３月から５月にかけて乳幼児を中心に胃腸炎の流行が起こり、この中にロタウイルスによる胃腸炎が多く含まれています。乳幼児期（０～６歳ころ）にかかりやすい病気です。ふつう、５歳までにほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。

感染経路

ロタウイルスが口から入ることで感染します。ロタウイルスは、患者の便に大量に含まれています。患者の便を処理した後、たとえ十分に手洗いをしても、手や爪に数億個ものウイルスが残っていることがあり、ロタウイルスが付いた手などから感染が広がっていきます。

症状

２～４日の潜伏期間（感染から発病までの期間）の後、水のような下痢や嘔吐が繰り返し起こります。その後、重い脱水症状が数日間続くことがあります。発熱や腹部の不快感などもよくみられます。
合併症として、けいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあり、死に至る場合もあります。意識の低下やけいれん等の症状が見られたら、速やかに、近くの医療機関を受診しましょう。

治療

現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給することなどが治療の中心になります。脱水症状がひどい場合には医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。 下痢止め薬（止しゃ薬）は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

定点種別	疾患名	状況	9週(2/24～3/2)		10週(3/3～3/9)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ／COVID-19	インフルエンザ	－	25	1.00	25	1.00
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		116	4.64	91	3.64
小児科	RSウイルス感染症		19	1.19	25	1.56
	咽頭結膜熱(プール熱)	－	2	0.13	4	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	33	2.06	31	1.94
	感染性胃腸炎	－	212	13.25	233	14.56
	水痘(みずぼうそう)	－	3	0.19	2	0.13
	手足口病	－	6	0.38	4	0.25
	伝染性紅斑(りんご病)	－	12	0.75	14	0.88
	突発性発しん		8	0.50	10	0.63
	ヘルパンギーナ	－	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	－	1	0.06	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	－	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	－	9	1.80	7	1.40
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		1	0.20	3	0.60
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		2	0.40	2	0.40

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
　○：警報レベル　△：注意報レベル　－：警報・注意報レベルなし